

編輯後記

座右寶刊行會

當誌も、色々の困難と戦ひながら、本年四月創刊以來、七冊を世におくることを得た。色々の批評を受けながらも、讀者、寄稿家のお盡力を得て、一つの形を備へて來たことは嬉しい限りである。文藝と美術との綜合を使命とする本誌の使命は重大である。ともすれば、ばらばらに分れやうとする。吾々は力を盡して綜合の實をあげようとしてゐる。大方のお助力とお聲援をお願いしたい。

街頭を歩いてゐても、續々と復興しつゝあるのは、喫茶店と劇場と食ひもの屋である。煽情を賣物にしてゐる雑誌の賣行はずばらしいと云ふ。なげかほしい事どもである。文化の復興が起るのはいつの事かと思はれる。読書はある意味に於いて、内省のものである。食ふことに追はれて内省をおこたつていゝものであらうか……。ともあれ暮晩である。吾々はこの一年の成果を内に省みつつ、新しい年を向かへんとしてゐる。

底本：「座右寶 第八・九號」座右寶刊行會

1946（昭和21）年12月1日発行

入力：蔣龍

2009年2月11日作成